

第3回常滑東小学校児童数増加に伴うあり方検討委員会

平成27年6月2日（火）19:30～
於 中央公民館 学習室2

1. 委員長あいさつ

2. 議事

1) 第2回検討委員会における意見・質問等について

2) 常滑東小学校の児童数増加に係る対応等について

※前回に引き続き協議します。

意見を集約していただくために、資料2「常滑東小学校児童数増加対策案3」について、予算的・物理的な制約等に関する教育委員会の考え方を○×△等で表示しました。

3. その他

※次回の開催予定日時・場所

第4回検討委員会

6月16日（火）午後7時30分から・中央公民館学習室2

第2回検討委員会における意見・質問等

資料1

No.	意見・質問	教育委員会の考え方	摘要
1	各対策案について、予算的に可能か、平成31年度の期限に間に合うか。	・対策案の内、予算的・時間的・物理的に可能性のないと考えられるものを×で、可能と思われるものを○で表示しました。	資料2「常滑東小学校児童数増加対策案その3」参照
2	交通安全面で不安があることはよくない。	・総合的な交通安全対策について、今後も小中学校・道路管理者・警察等と協議を続けます。	
3	将来、教室不足が見込まれる常中のこともあるせて考えるべきではないか。	・常中は、平成38・39年度に2~3教室不足する可能性があります。随時、生徒数の推移を見守る必要があると考えております。今すぐ対策が必要な状態ではありませんが、時期を見誤らないよう適切に対応していきたいと考えております。	
4	プレハブをグランドに建てた場合の敷地形状はどうなるのか。	・グランドの北東部を使用します。資料5「プレハブ校舎配置図案」とおり。	資料5「プレハブ校舎配置図案」参照
5	通学区域の再度の変更はやめてほしい。	・通学区域の変更は、「コミュニティを分断する。」「児童や保護者が混乱する。」「飛香台地区の一部を西小の通学区域に編入する場合、東小付近を通って通学することになり理解されにくく。」「保育園・小中学校の通学の事も含めてお住まいの位置を決めた方がいらっしゃる。」等の意見があります。 ※これらの点を総合的に検討した結果、対策案としては適さず、除外すべきであると判断しております。	
6	判断材料として事業費が知りたい。	・概算事業費となりますが、可能な限り情報提供しました。ただし、あくまでも概算費用であり、今後、精査した場合、大きな差が生ずる可能性もありますのでご承知おきください。	資料2「常滑東小学校児童数増加対策案その3」参照
7	常中と東小を入れ替えた場合、結果としてクラス数不足は解消するのか。	・常中も東小も普通教室は27教室です。この為、入れ替え後も教室数が不足することに変わりなく、増築等、不足教室分の手当てが必要となります。また、小・中の施設の設置基準の違いから改修費等も必要となります。したがって、たとえば、プレハブ校舎等の事業費及び入れ替えに伴う改修費等が別途必要となります。 ※これらの点を総合的に検討した結果、対策案としては適さず、除外すべきであると判断しております。	
8	常高を常中にすることで、夢の無い学校生活になると思う。今の中学校の方が、校舎の位置、環境等の面で良いと思う。	・常高の施設は老朽化しており、また、体育館等は耐震性がないと聞いております。 ・街中を通ることになり、自転車での通学は現在よりも交通安全上、課題が多いと思います。 ・県所有の施設であり、交渉が必要です。 ・常中は、校舎等の施設が適切に配置されており、また、自然豊かな素晴らしい環境にあります。 ※これらの点を総合的に検討した結果、常高を常中にする案は、対策案として適さず、除外すべきであると判断しております。	
9	常中が教室不足になる可能性があるなら、このまま置いた方が対応しやすいのではないか。	・常中は、校舎等の施設が適切に配置されており、また、自然豊かな素晴らしい環境にあります。(再掲) ・常中における生徒数予測では、平成38・39年度に2~3教室の不足が見込まれ、増築の必要性が生じる可能性がある中、用地的にも対応可能な敷地規模となっています。 ※これらの点を総合的に検討した結果、常中は、現状のまま利用すべきであると判断しております。	
10	横断歩道橋を設置してほしい。	・横断歩道橋の設置については、関係機関にその可能性について照会を行います。	
11	常中の余地に小学校を建設してはどうか。	・将来、常中の教室不足が見込まれる。 ・若干余地はあるが、土地の形状が南北に長く校舎の建築には向きである。 ・多額の事業費が想定される。 ・体育館、グランド、プール等を小中学校で共用することになることについての課題の整理が必要である。 ※これらの点を総合的に検討した結果、対策案としては適さず、除外すべきであると判断しております。	資料4「参考図(常中の余地に小学校を新設する案)小中一貫校」参照
12	風の丘こども園の保護者の意見を聞きたい。	・資料3「参考(風の丘こども園の保護者からのご意見)」をご参照ください。	資料3
13	通いたい小学校を自ら選ぶ学校選択制という手法もあるのではないか。	・東小のマンモス化を極力抑えるために、東小から西小への通学変更を認める「特定地域選択制」の導入を検討していきます。	

想定される対策案

対策案	方 法	内 容	メリット	デメリット	教育委員会の考え方	備 考
1	通学区域の変更	・東小と西小の通学区域を再度変更する。例えば、飛香台地区の1丁目から3丁目を西小へという案です。	・築造費が他の方法と比較し少なく済む可能性がある。 ・31年度に間に合う。	・コミュニティを分断する。 ・児童や保護者が混乱する。 ・飛香台地区の一部を西小の通学区域に編入する場合、東小付近を通って通学することになり理解されにくいと思われます。	×	・資料1のNo.5参照 ・課題が多く、対策案として適さず、除外すべきであると判断した。
2	東小の東校舎の建て替え	・東小の特別教室のある3階建て東館を建替え、特別教室と普通教室をあわせた4階建ての新東館を建設する。	・築50年以上経過した校舎を新しいものにできる。 ・31年度に間に合う。	・築造費が大きい。 <u>・新東館の築造費以外に特別教室の仮設校舎としてプレハブ教室が必要である。</u>	○	
3	プレハブ校舎建設	・東小のグランドの一部にプレハブ校舎を建設する。	・築造費は2の建替えより安価である。 ・31年度に間に合う。 ・エアコンの設置により室温は適温に保たれる。	・プレハブ校舎建設による対応となった場合でも、東館を含めた既存の校舎の大規模改修が別途必要となる。 ・プレハブ校舎を建設するため、グランドの一部が使えなくなる。	○	・プレハブ校舎建設時の敷地形状については、資料5参照
4	東小と常中を入れ替える	・常中を東小にし、東小を常中にする。	・国道247号線を境に通学区域の変更を行えば、交通安全上、比較的安全となるのではないか。	・東小と常中の普通教室数は同じ27教室であり、入れ替えだけでは教室不足は解消されないため、増築の費用は引き続き発生します。また、入れ替えに伴う改修費等も別途必要となります。 ・中学校と小学校では施設の構造が異なり、階段、手洗い、黒板位置など校舎の改修や武道場などの体育設備の新築が必要となるため、経費がかさむうえ、移転作業が発生する。 ・通学区域の変更の必要も生ずる。 ・全事業費が大きくなる可能性あり。・31年度に間に合わない可能性がある。	×	・資料1のNo.7参照 ・概算事業費は十数億円と推計されます。 ・予算的・時間的に困難であり、対策案として適さず、除外すべきであると判断した。
5	旧常高を利用する	・旧常高を借用若しくは売買により市の管理とした後、常中にし、常中を東小にする案。	・同上	・自転車通学に際し、現在よりも街中を通ることになり、交通安全上課題が多い。 ・対策案4と同様大きな事業費が必要となる。 ・常高は、テニスコート等が職員室から見通せないため目が行き届かない。また、不審者対策上も課題がある。 ・旧常校は県施設であり、交渉が必要である。 ・体育館は耐震性がなく、また、老朽化している。 ・現在使われていない校舎であり、老朽化も進んでいるため、いつまでもつかわからない。 ・31年度に間に合わない可能性がある。	×	・資料1のNo.8参照 ・予算的・時間的に困難であり、対策案として適さず、除外すべきであると判断した。
6	常中の余地に小学校を建てる	・常中の余地(テニスコート等)に小学校を建てる。	・新しい校舎となる。	・常中の教室不足による増築用地がなくなる。 ・若干余地はあるが、土地の形状が南北に長く校舎の建築には向きである。 ・多額の事業費が想定される。 ・体育館、グランド、プール等を小中学校で共用することになることについての課題の整理が必要である。	×	・資料4・資料1のNo.11参照 ・物理的・予算的・時間的に困難であり、対策案として適さず、除外すべきであると判断した。
7	飛香台地区に小学校を新築する	・例えば、飛香台周辺の山を開発し小学校を新築する。	・快適な環境が得られる。	・多額の事業費が想定される。市の財政状況からみてきわめて可能性が低い。 ・用地取得から始めることになり、施設の完成までの期間からみて平成31年度には間に合わない可能性が非常に高い。	×	・概算事業費は、数十億円と推計されます。 ・用地取得の不確実性。 ・予算的・時間的に困難であり、対策案として適さず除外すべきと判断した。

※アンダーライン部は、第2回の検討委員会からの追加事項です。

風の丘こども園保護者のご意見

No.	内 容
1	<p>バスなど利用し、西小も選択できるようにしてはどうか。</p> <p>東小の増築 e t c をしても近い将来また児童バランスが悪くなると思う。ならば、最初から校区の児童を西か東か選べるようにしたらよいのでは。</p> <p>常滑は、赤字の多い市ですからお金を使うことの少ないプランを考えるべき。うちは26年度より東小から西小に校区変更した地域ですが。</p>
2	<p>今後も人口の増加は、見込まれるので、学級数が増えることはしょうがないことだと思います。今ある建物の中に増設する地区も見たことがあります。しかし、子供を1番に。</p> <p>移動など、子どもたちにとって、悲しい思いをしなくてもいいように対策を立ててもらえたたらと思います。</p>
3	<p>今年度長男が東小に入学しました。もう東小になじみつつあるので、今更ですが、今年は西小と東小で1年生の1クラス人数に大きく差があるというような話も耳にしたので、一人一人への目の届きやすさでいうと西小でも良かったかな・・・と思います。と言うのは、元々、丸山保育園に行っており、西小の友達も多かった事、8丁目なので比較的に近いことがあったからです。</p> <p>転園する前に西小か東小か希望を取っていただき、一緒にかよえそうな友人がいるという事なら西小でも良かったかなと思います。(車では体力がつかないので考えられません)</p> <p>兄が東小にいるので次男は絶対東小がいいです。東小増築のような話も聞きましたが、後世、西小閉校もつらいので、うまくいくことを望みます。丁目で西・東を分けるのは、文句がでそうです。</p>
4	<p>引っ越しの際、津波の事を考え小学校校区・中学等安全な所をと思い飛香台に引っ越し校区も東小の所にして、校区がいまさら変わること納得いかない。</p> <p>わざわざ校区を変え、子どもを危険な場所には行かせたくない。地震が起きたときはどう子供を守るのか。東小の増設等を考えてほしい。</p> <p>子供を守るのが親の役目だと思うので、校区が西小等に変わらなければ絶対反対。</p>
5	<p>せっかくこども園で仲良くなれたお友達と同じ小学校へ行かせてほしい。</p> <p>環境の変化に敏感な子供たちをばらばらにしてほしくない。</p> <p>常中を小学校に、旧常高を中学校にするなどで小学校を増やしてほしい。</p> <p>小学校在学中に校区を変えるのはやめてほしい。変える場合は、体操服なども変えないといけないなら市でお金を出すようにしてほしい。</p> <p>前も校区を変えたのに、また変えるのはどうかと思う。子供や保護者を不</p>

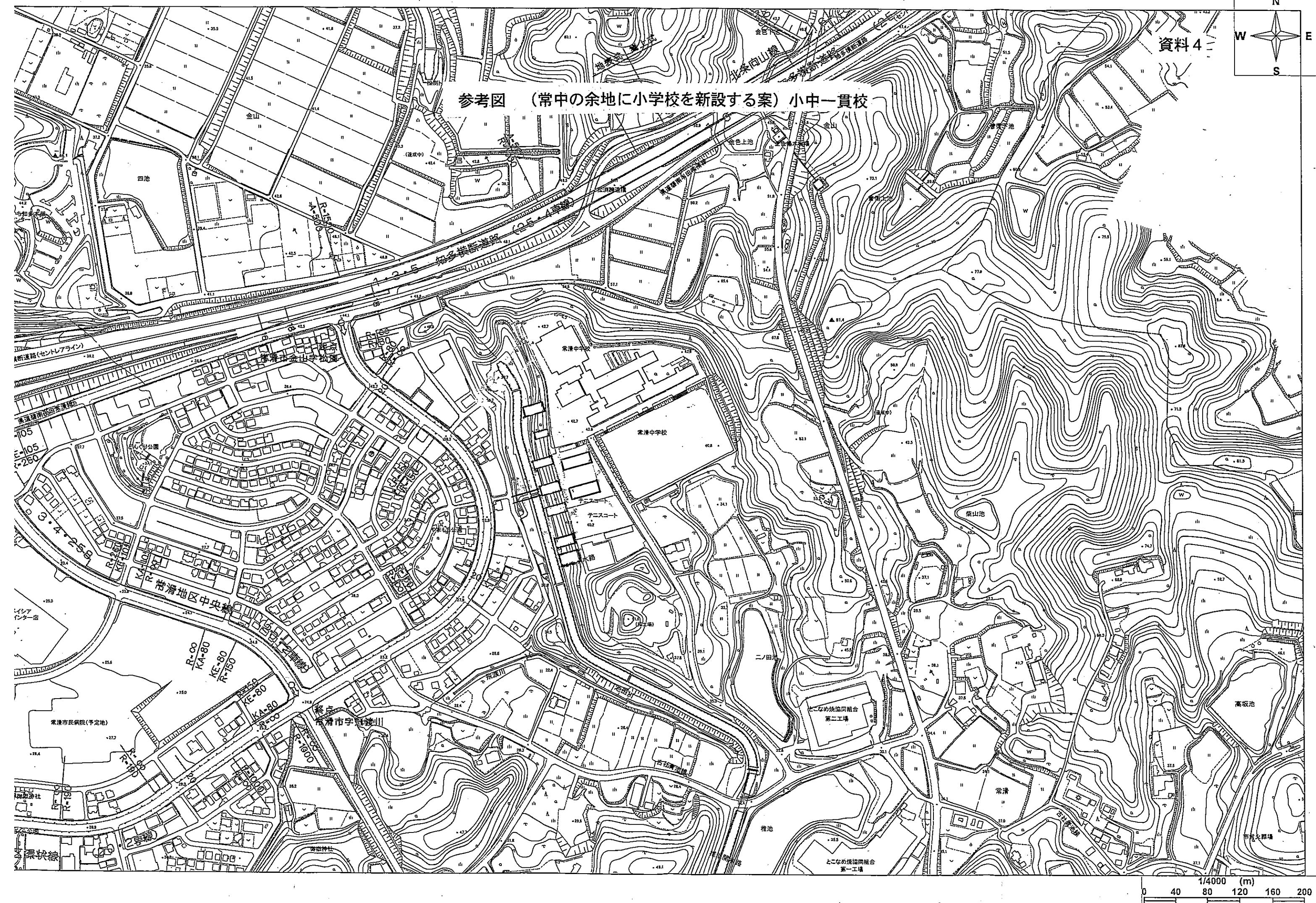
	<p>安にするようなことはやめてほしい。 常滑市をもっと住みやすい環境にしてください。</p>
6	<p>校区の見直しをして1年もたたないうちにまた、どうするかと言っているのは、どうなのかと思う。校区見直しをするなら新入生からにしてほしい。在校生の校区見直しは、せっかく通っていた学校をかわらせるのは子供たちに負担がかかる。</p> <p>校舎を増築するという話もあるみたいですが、今は児童が増えていますが、また、減少していった時、増築した校舎はどうするのかなど、きちんと考えて進めてもらいたい。</p> <p>行き当たりばったりの対策はやめてほしい。</p>
7	飛香台を東小区域と西小区域に二分する。(ミニストップ周辺の西の地域を西小校区にする。)
8	一部の区域を常西に移動するしかない。でも、兄弟がいる人はいやだと思うし、常西に移動するにあたって、体操服他を買わなきゃいけない。とかなるとかわいそう。
9	学区わりによっては、道一本で東小学校が近くても西小学校になることもありますし、元々の友人関係で小学校に上がって西東に分かれてしまうことがあるので事前に希望をとってみてはどうでしょうか。
10	小学校区を考え保育園を決めましたので、東小の学級数を増やして対応していただきたいです。東小でもかなり遠くて心配ですし、それ以上遠くなるのは考えられないです。ある程度の人数は市で把握できますよね。3~4年前に対応し、行動してもらわないと急に変更になってしまふ困惑します。
11	出来れば、飛香台は同じ校区にしてほしいと思います。
12	なるべく学区の変更はせず、学級数を増やす等して対応してほしい。 思い切って新しい小学校をつくる。
13	<p>うちは今、兄が東小の1年生です。兄弟がすでに入学している家庭は、兄弟が別々の学校というのは大変なので避けていただきたいです。</p> <p>西小の学校方針を知って、西小の方がよいという方も見えると思うので、自由に選択できるのもよいかと思います。</p> <p>それでもバランスがとれない場合は、西小に近い飛香台の8丁目、1丁目、2丁目の順でとか、古千代、瀬木等も保護者の意見を聞いていただけたらと思います。</p>
14	<p>ネットなどを見て、ニュータウンを造るだけ造っておいて、児童数の増加が見込めないなんて・・・とは前々から残念に思っていました。</p> <p>校区の見直しで、「西小学校に行け」なんて急な事は絶対に反対です。</p> <p>旧常滑高校を中学校に、現中学校を小学校にできたらいいと思います。</p>
15	<p>今年の1年生あと数人増えれば6クラスと聞いた。この人数はマンモスすぎるのでないか・・・とすごく不安がある。</p> <p>まだまだ飛香台は空き宅地が大半。もっともっと増えますよね・・子供。</p>

	<p>先を考えてほしい。(学童 e t c も同様に)</p> <p>新しい大規模住宅を造った他の地域はどう対策しているのでしょうか。とにかく、西東のバランスをもっと考えてほしい。</p> <p>東をもう半分に分割するなど・・・。</p> <p>目が行き届かなかったり、毎年のクラス替えて親しい友達と毎年離れる・・・と、お友達とつながりが逆に薄くなりそうなあまり良いイメージを持てないマンモス化。</p>
16	<p>小学校区についてではないですが、児童クラブについての意見です。学校の建増しなどに合わせて、児童クラブの増設または現ひこうきぐもの定員増などの対策も必要になってくると思います。</p> <p>現在下の子は風の丘在園児、上の子は常滑児童センター利用で大変不便です。現状でも飛香台地区の児童クラブは足りていませんので、こちらについての対策も切に望みます。</p>
17	<p>常滑市墮星に住んでいます。周辺の子どもたちは知多バスで通学しています。東小学校でも遠く、バス通学だったのに、さらに遠い西小学校に変わってしまいました。私の子供が小学校になるころには、まわりに同じくらいの子供がいません。小学1年生からバスに乗って通学はとても心配です。さらに以前は、バス代も市から一部出ていたと聞きましたが、現在はないようです。それなのに、さらにバス代のかかる小学校へ通うというのはどうなのでしょうか。両親共働きの家庭のため、本当に心配です。校区の見直しを考えいただきたいです。</p>
18	<p>現在、飛香台のセブンイレブンあたりに住んでいますが、東小学校までは大人の足でも30分弱はかかるてしまうため、さらに距離のある西小学校区になった場合、通学はかなり厳しくなってしまいます。</p> <p>校区見直しや学級数を増やす対応でも追いつかないのであれば、財政的に難しいとは思いますが、新校を造る（分校や旧常滑高、常滑中学の利用等）案も具体的に考える必要があるかと思います。</p>
19	<p>かじま台に住んでおり、常滑東小学校校区から西小学校校区へと変更になりました。子供の数が増えているのは長い目で見ると短い期間だと思います。校区の見直しやクラス数で対応するしかないと思います。学校区の変更を2つの小学校だけでなく、他の小学校に近い地域は、そちらも含めて再々変更してもよいと思います。変更の際はできるだけ学年の途中ではなく、入学時から。また、校区に関係なく、個々の希望者は希望学校へ入学させていただきたいと思います。以上</p>
20	<p>表記の件について、以前より校区の見直しや学級数の増加などのご尽力に感謝しております。しかしながら、再度校区の見直しをする、増築などの予定などまた、飛香台内での線引きなどのうわさを耳にします。児童数の増加は、飛香台ができた時点で予想がつくこと、すでに校区の見直しがされているのに対策が不十分な現実に疑問を感じます。常滑市飛香台に転入する際に</p>

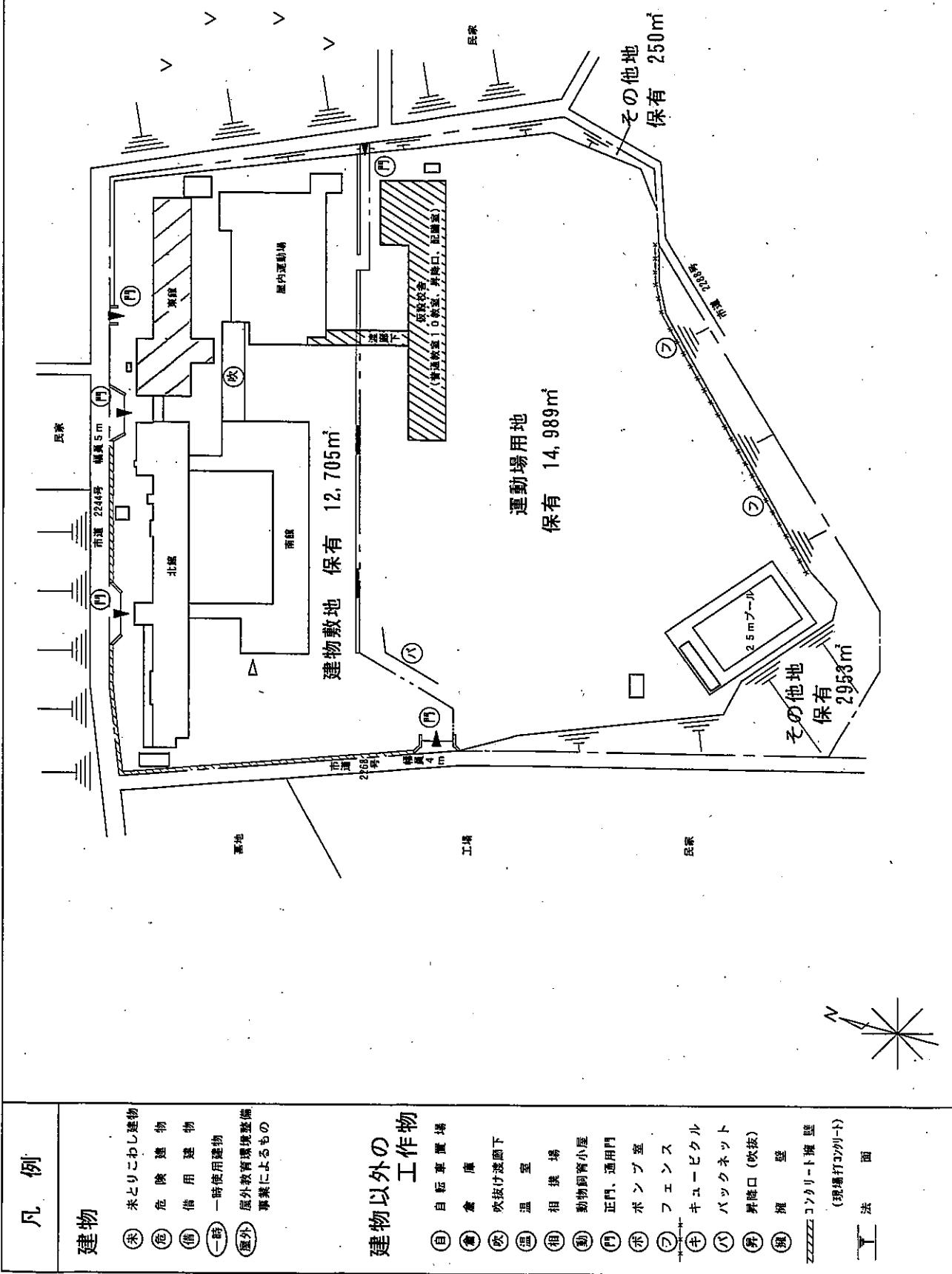
	子供の通う保育園、小学校、中学校に関してはよく考慮したうえで転入を決めています。もちろん既に校区の変更により西小学校へ変更になった地域の皆様には頭が上がりませんが、この先、飛香台内での校区の見直しがあるのであれば、反対です。ほとんどの児童が東小学校に進むという風の丘こども園を選んだ理由の一つが意味がなかったことになります。
21	小学校が徒歩10分以内で通えるように考えて、今の場所に家を建てたので、常滑東小に通えないと困ります。
22	常滑東小学校の児童数増加に伴い、校区の見直しがされ、遠方の常滑西小学校への転校を余儀なくされた方がいると聞きました。 私どもをはじめ、飛香台地区南側に家を建築された方々は、常滑東小学校の少しでも近くに子供たちの通学への負担を少しでも軽くしたいという思いで、この場所を選んだということが多いと思いますし、そのような話もよく耳にします。 そのような保護者の気持ちも汲んだうえで、今後の対策をとっていただけたらと思います。よろしくお願いいいたします。
23	小学校まで距離があるので、治安面の心配あり。交通量が多い道路があるので、事故が心配。児童数の増加により、1クラスの人数が多くなり過ぎて、教師の目が届かなくなるような状況は回避していただきたい。児童数にあつた受け皿（施設、教室）の確保。
24	①コミュニティづくり 私は、年中の幼児を風の丘子ども園に通わせています。ここに住み始め3年、公私ともに顔見知りも増え、地域の行事を通じて飛香台のコミュニティが形成されています。できる事なら、この地域の子供たちが同じ小学校に就学できることを希望します。 ②要望 仮に校舎などキャパシティの問題で東小学校の受け入れが困難という事であれば、通学路の安全確保及び距離の問題（自宅から西小学校まで約2km）への対策を講じ、学区見直し対象の皆さんに十分な説明をしていただきたい。住民不在のまま、数字合わせのための線引きはやめてほしい。
25	西小の校区を広げる。（飛香台内の範囲を広げる）さらに、西小学校の低学年はスクールバス等を考慮する。
26	校区は現状のままで対応していただきたいと思います。校舎の増設などの対応はできないのでしょうか。近い東小の前を通って西小に通うというのはどうも納得ができません。また、飛香台は広いので、地区で分けるとしても不平、不満が出るのではないかでしょうか。飛香台を造る時点で予測のできたことであり、こうなる前から対策をとておく必要、そして時間は十分にあったと思います。
27	東小では増設するとの話を聞いていますので、できるのであれば増設して

	いただいて飛香台の中で、小学校が分かれることのないようにしてもらいたいです。よく聞く話としては、飛香台1丁目・2丁目または、1丁目8丁目を西小にと言われますが、我が家は小学校に近いようにと、1丁目に住んでいます。校区の見直しは非常に困ります。
28	家を買ったとき（5年ほど前）事前に、園や小学校中学校など、リサーチしてから買いました。親として、あまり遠すぎるところに通わせるのも心配ですし、飛香台の1丁目、2丁目、8丁目は東小学校ではなく、西小学校への見直しがあるかもしれないとうわさで聞いていますが、50年～40年前のベビーラッシュの子どもたちを受け入れたほどの「キャバ」は東小学校にはあるとの話を聞いています。このまま、こども園で仲良くなつた子達と離れることなく、東小学校に入学し、そのまま卒業することを強く望んでいます。若しくは、無理かとは思いますが、飛香台だけの小学校を造るのもいいのでは。それも無理なら私立の小学校を誘致するのはいかがですか。幼稚園から高校までのエスカレータ式の。教育熱心な方が通わすにも良いですし、少しは人数が分散するのではないかでしょうか。ぜひ検討のほどお願いします。
29	我が家には、小学校に通う生徒がおりませんので、小学校の状況等はほとんど把握しておりませんが、飛香台地区すべてが東に集められてしまうのは、この先どうなるのだろうと不安になります。全校生徒のほとんどが、飛香台地区になるということになりかねませんか。原松町周辺は現在、西小学校区と聞きますが、東小学校でも良いのではと思うことがあります。 学級数が増えたり減ったりということも今後あるのか・・・。あまり児童数が増えすぎても困ります。
30	常滑東小学校区であることも家を購入する時に考え、購入したりしているので、校区が見直され、かわってしまうことがないほうが希望です。 なんとか、学級数を増やすなど、校区がかわることのないような対策をとっていただけるとありがたいです。
31	同保育園内で校区を二分するような校区見直しは、してほしくないです。 小学校の途中での転校は避けたいです。
32	これ以上の校区の見直しは、希望しません。
33	飛香台への新小学校設立、又は、東小学校の増築。
34	こちらとしては現状もわかりませんし、対策が追い付いてないからと意見を求められても回答に困ります。飛香台5丁目ですが、当然東小に通学するものと考えてますが、距離もありますし、特に低学年の間の通学での事故に心配があります。簡単ではないと思いますが、一番良いのは、新学校を造る事、若しくは飛香台住民としては、現中学校と東小を替えることです。現状や増加予想など、こちらは分からないので、対策等は市や教育委員会に任せしかありません。しっかりと見通しを立て手遅れにならないように対策をしていただきたいです。
35	校舎の増設を考えてほしい。

36	遠いと思います。朝、7時頃から小学生の姿を見るくらいなので、・・・。 スクールバスがあると良いと思います。 夏の間が、かなり厳しい登校になる（暑さ熱中症等）と思うので、対策がほしい。
37	小学校までの通学路が子供の生活についても上の子もいなくてわからない状態です。お任せしたいと思います。
38	市の意見が分からないので考えを聞きたい。常滑東小学校だけ学区選択制を導入。旧常滑高校を活用する。（常滑西・東・高校3つを利用する）市の借金が多いのに、学校を造るのはどうかと思う。
39	途中の変更、仲良くなつた友達と離れたりするのは子供たちがかわいそだと思うので、やめてほしいです。
40	昨年校区の見直しをしたばかりなので、またすぐ見直すのは、やめてほしいと思う。 増設する土地があるなら増設の方がよいし、昔、マンモス校化した学校で別棟を建てて分校化（中学で1年が分校、2、3年が本校）したところもあった。 阿久比などでも飛香台のように住民が増えている地区があるので、その土地の対策を参考にしてもよいのでは。
41	常滑東小から常滑西小への校区見直しについては、反対です。現在、常滑東小へ飛香台から通学するのにも、小学校低学年の足では40分ほどかかると聞きます。常滑西小ではプラス10～20分かかるのではないかでしょうか。交通量も多い道なので、事故も心配ですし、誘拐、不審者との遭遇も心配です。 高浜市では、新興住宅地によるこども増加に対応し、小学校が新設されたと聞きました。他に長久手？かどこかども小学校を新設し、ゆくゆくは子供が大きくなり子供の数が減ったときに備え、老人ホームにリノベーションできるよう、スロープなどを最初から取り入れたと聞きます。飛香台でも将来老人ホームにシフトチェンジできるような、小学校を新設されたらどうでしょうか。
42	風の丘こども園が借りている下の駐車場あたりに分校を造る事はできませんか。交通安全面から考えても飛香台に小学校ができたらうれしいです。
43	飛香台エリアの児童数が増加していることを考えると、飛香台の近郊エリアに新しい小学校を建設（増設）していただきたい。 東小まではかなり距離があるため、通学（登下校）中の安全面も考え方検討してください。 あるいは、西小を廃校にし、東小と飛香台近郊に新設し、2校とする案もありかと思います。



プレハブ校舎配置図案



校区児童生徒数増加に伴う対策についてのアンケート

常滑東小学校児童数増加に伴うあり方検討委員
常滑市立常滑中学校PTA会長 都築 孝弘

目頃は本校の教育活動に対してご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。いることはご周知のことだと思います。これらの問題は常滑東小学校の課題ではない先には校舎が足りなくなっているので、本校からいきます。そこで、本校が足りない先には校舎をどうするかで構いませんので、ご協力ください。

対策案	方法	内容	メリット・デメリット	○をつけてください
1 通学区域の変更	東小と西小の通学区域を再度変更する。	○築造費が他の方法と比較し少なく済む。 ○31年度に間に分断される。	賛成・反対・どちらでもない 95 73 99	
2 東小（東館）の建替え	東小の東館（特別教養室3階建）を特別教室と普通常教室の4階建に建替える。	○築50年度以上に老朽校舎が新しくなる。 ○31年度に間に合つ。	賛成・反対・どちらでもない 65 74 91	
3 東小にプレハブ校舎を建てる。	東小の運動場の一部にプレハブ校舎を建てる。	○建築費が第2審より安価である。 ○既存の他の校舎が改修が必要である。	賛成・反対・どちらでもない 56 137 27	
4 東小どど常中を入る。	東小を常中にし、常中を東小にする。	○国道247号線を境に通学区域を変更すれば、比較的安金にできる。 ○小中通学区域の整備が変更が必要になる。	賛成・反対・どちらでもない 49 164 54	
5 旧常滑高校を利用する。	旧常滑高校を常中にし、常中を東小にする。	○同上常滑高校は県所有物であり老朽化もある。 ○31年度に間に合はない可能性もある。	賛成・反対・どちらでもない 73 169 25	
6 常中の余地に小学校を建てる。	常中（テニスコート等）に小学校を建て常中とする。	○新しい校舎となる土地となり、課題の整理が必要。	賛成・反対・どちらでもない 12 198 47	
7 飛島台に小学校を新築する。	例えば飛島台周辺の山を開拓し、小学校を新築する。	○快適な環境が得られる。 ○多額の事業費が必要。 ○用地取得にも時間がかかり、間に合わない。	賛成・反対・どちらでもない 55 153 71	
その他、何かお書き下さい				

ご協力ありがとうございました。 5/29(金)までに常滑中学校へご提出ください。